

140

140年分の「ありがとう」を未来へ

百十四銀行会社説明会



2018年9月6日

株式会社百十四銀行
東証第1部:8386

◆ 昨年のアンケート結果

昨年のアンケートで、財務体質や株主優待、割安感等で高い評価をいただいた一方、当行の強みや成長性をもっと説明すべきとのご意見をいただきました。

【2017年 百十四銀行会社説明会 アンケート結果】



財務
体質

株主
優待

割安感

親近感



配当金



当行の強み

成長性

目 次

I. 百十四銀行について	P 4
II. 2017年度業績について	P 6
III. 当行の強み	P 9
IV. 当行の成長に向けた取組み	P 15
V. その他の取組み	P 22
VI. 株主さまへの還元	P 25

I. 百十四銀行について

◆ 百十四銀行のプロフィール

当行の創業は1878年、おかげさまで今年140周年を迎えます。資金量は地方銀行64行中、総預金残高が30位、貸出金残高が32位となっています。

本店所在地	香川県高松市亀井町5番地の1	資本金	373億円	2018年3月末現在
創業	1878年11月1日	発行済株式数	300,000千株	
総資産	4兆7,491億円	従業員数	2,283人	
総預金	4兆662億円	店舗数	124店舗(本支店103、出張所21)	
貸出金	2兆8,378億円		海外駐在員事務所 2(上海・シンガポール)	

地銀64行中
総預金残高：30位
貸出金残高：32位



創業当時の建物(1887年頃)
「第百十四国立銀行盛業の図」
三井淳生画



旧本店
(現在の高松支店)

2018年 創業140周年

2016年 四国アライアンス
包括提携

1995年 預金残高3兆円達成

1978年 創業百周年
預金残高1兆円達成

1973年 東証一部上場

1966年 本店を現在地へ移転

1948年 商号を(株)百十四銀行に変更

1878年 第百十四国立銀行として創業

1872年 国立銀行条例が公布



空襲で被災した
旧本店



竣工時の本店

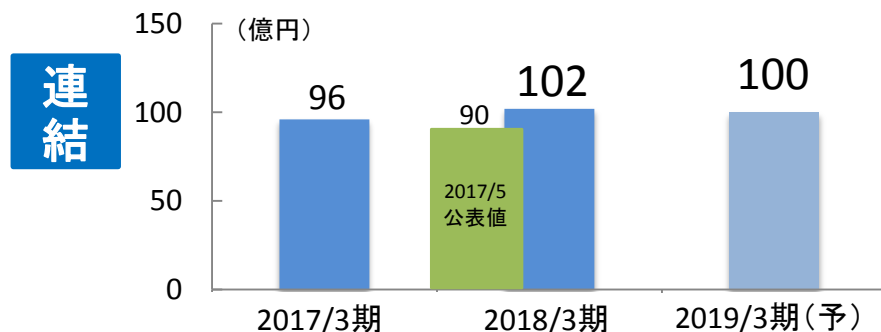
Ⅱ. 2017年度業績について

◆ 2017年度業績ハイライトと2018年度の見通し

連結ベースでは増益決算、銀行の本業からの利益を示す指標の「コア業務純益」は前期比6億円増加して137億円となりました。今期はいずれもほぼ横ばいの見通しです。

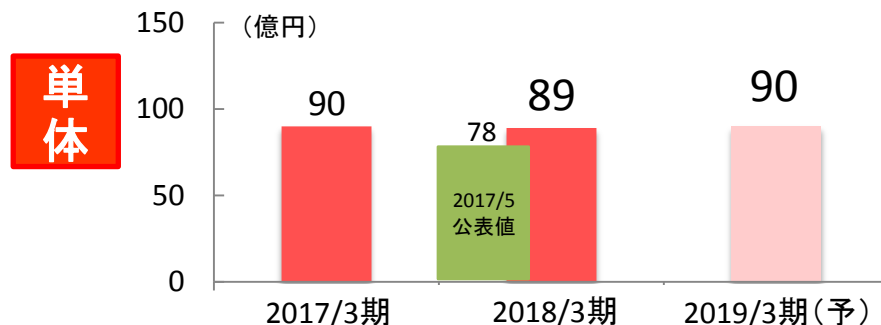
親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比5億円増加の102億円となりました。今期は100億円の見通しです。



当期純利益

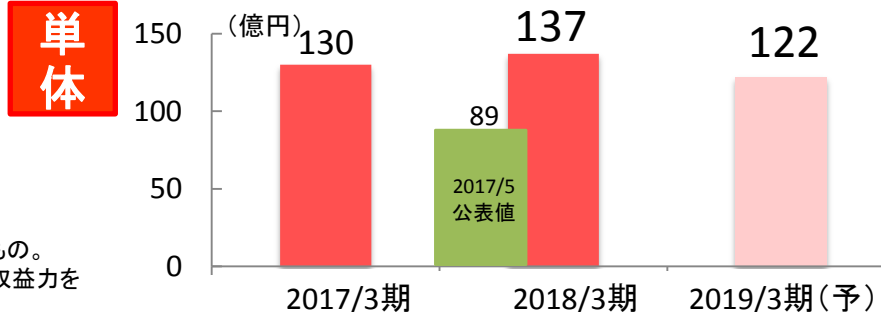
当期純利益はほぼ横ばいの89億円となりました。今期は90億円の見通しです。



コア業務純益※

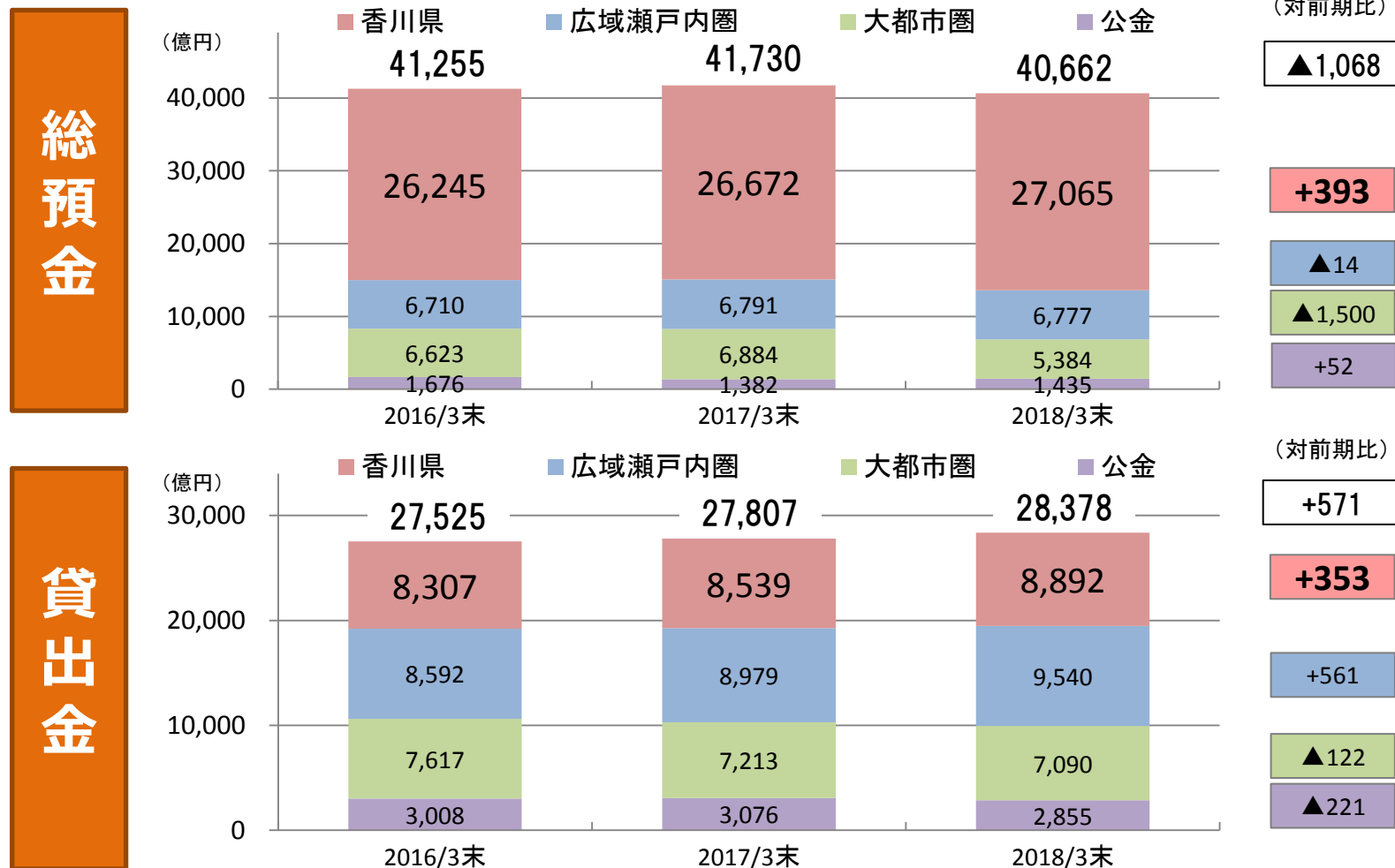
手数料収入等の増加や、経費の削減などにより前期比6億円増加の137億円となりました。今期は122億円の見通しです。

※コア業務純益とは、預貸金や金融商品販売業務等より得る利益から、経費を差し引いたもの。
一時的な変動要因である債券売却益等が含まれていないため、商業銀行の本業による収益力を表します。



総預金・貸出金の状況

総預金残高は、香川県で増加しましたが、県外の法人預金等の抑制で全体は減少。
貸出金残高は、香川県及び広域瀬戸内圏で着実に増加し、全体でも増加しました。



広域瀬戸内圏：県外四国、岡山、広島、兵庫、福岡

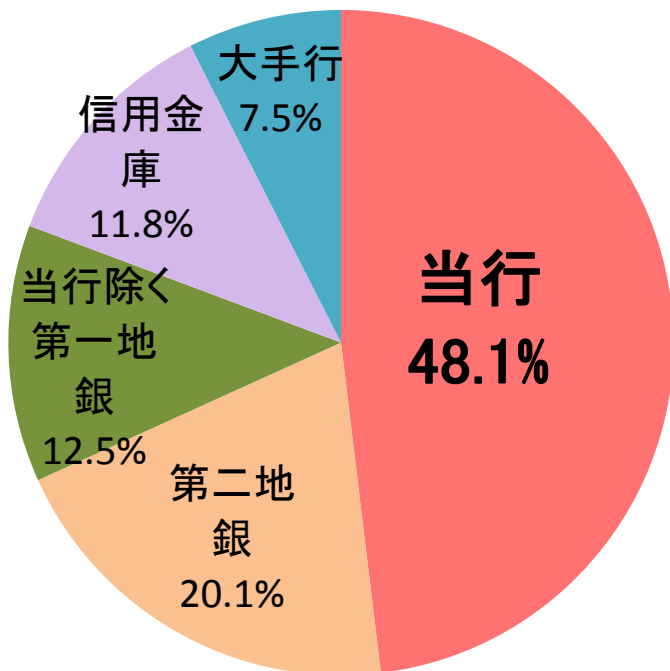
大都市圏：東京、名古屋、大阪

Ⅲ. 当行の強み

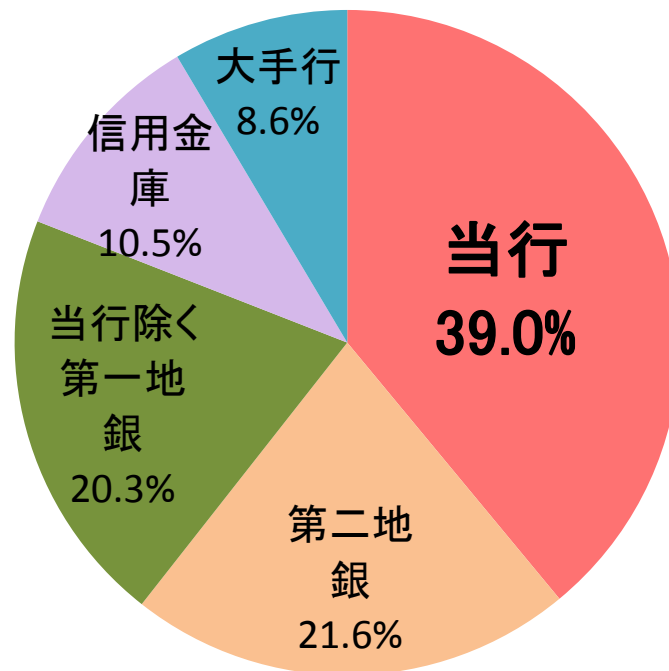
◆ 地元香川県における高いマーケットシェア

都市銀行、地方銀行などの競合が激しいなか、香川県内では預金・貸出金ともにNo.1のシェアをいただいております。

香川県内預金シェア

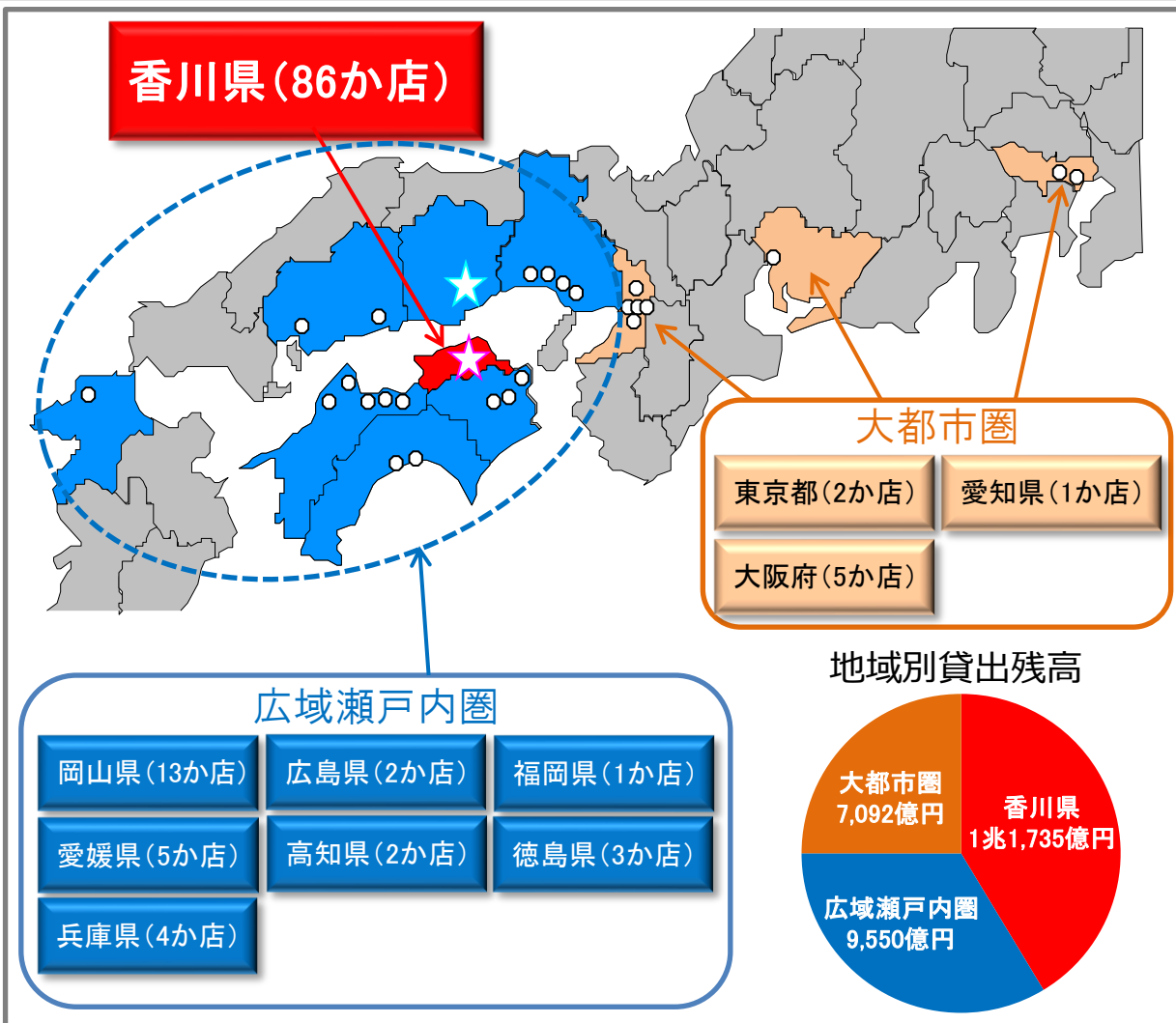


香川県内貸出シェア

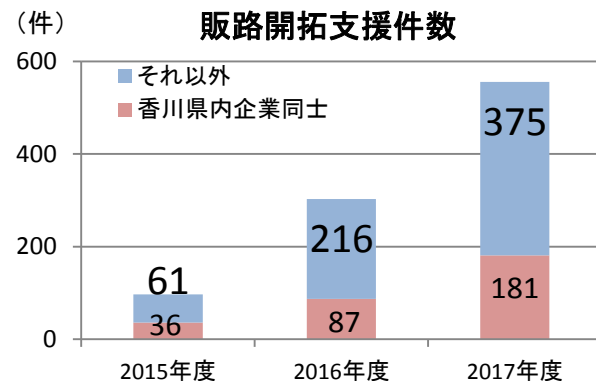


◆ 歴史ある広域店舗網

早くから県外出店を進めた結果、11都府県にわたる広域店舗網を有し、古くからのお客さまも多くいらっしゃいます。地元と県外のお客さまの“縁”を取り持ちます。

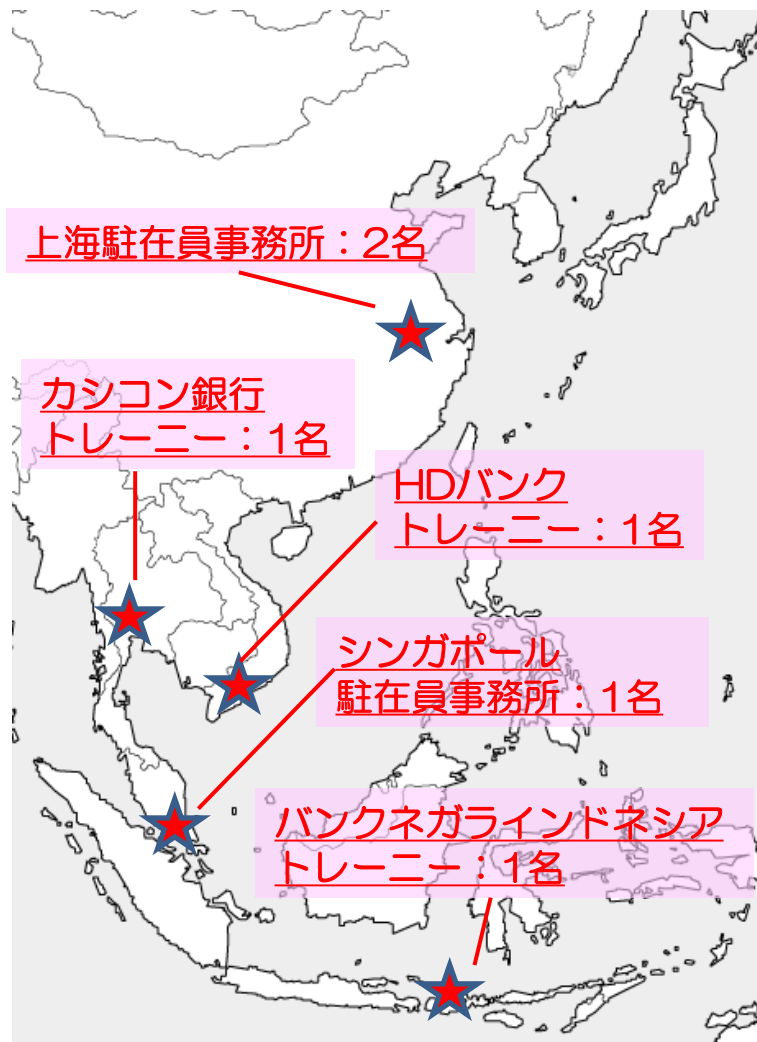


開設年	支店名
1950年	大阪支店
1952年	岡山支店
〃	東京支店
1958年	広島支店
1961年	神戸支店
1964年	名古屋支店



◆ 地方銀行トップレベルの国際業務

海外に滞在する行員や提携企業とも連携し、お客さまの海外進出や資金調達のご支援等を積極的に行っており、外貨預金及び貸付残高は地銀トップレベルです。



■ その他海外業務提携先

- 中国／バンクオブチャイナ（北京及び東京）
- 台湾／中国信託ホールディング
- フィリピン／メトロポリタン銀行
- インド／インドステイト銀行

■ 主な業務提携先(国内)

- 物流／日本通運(株)
- 保険／東京海上日動火災保険(株) 他
- 警備／総合警備保障(株)、セコム(株)
- コンサルティング／(株)フォーバル、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
- 越境EC／アリババ株式会社
- レンタルオフィス／CROSSCOOP SINGAPORE PTE.LTD.



四国インバウンド商談会
inバンコク

外貨預金残高
7位/地銀64行中

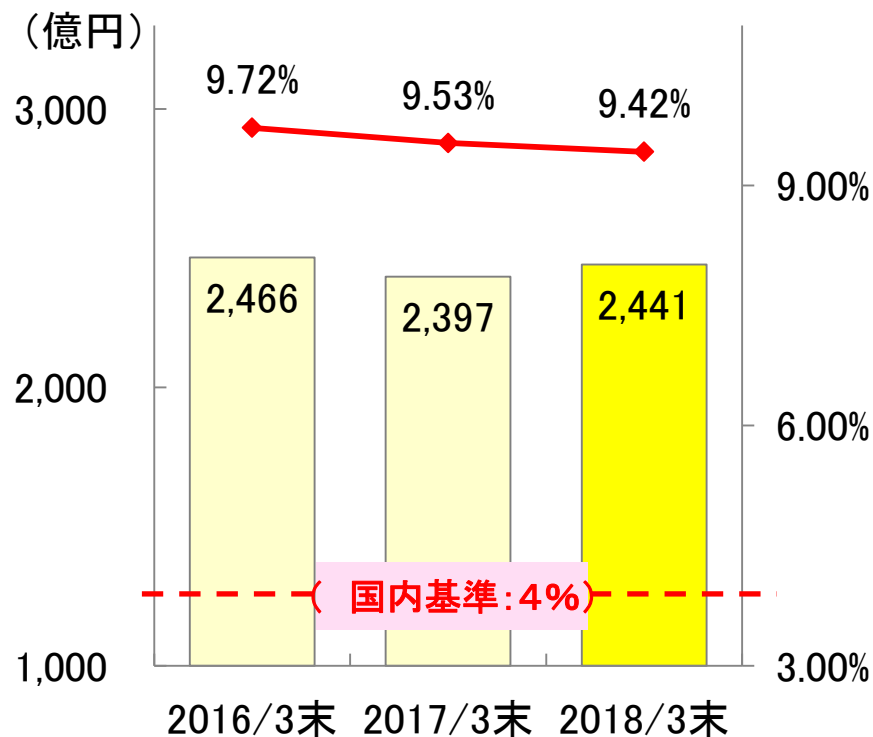
外貨貸付残高
9位/地銀64行中

2018年3月末時点

健全性の状況

自己資本比率は連結ベースで9.42%となりました。国内基準で必要とされる4%を上回っており、当行の健全性は確保されております。

連結自己資本比率



■ 自己資本額(連結) ◆ 自己資本比率(連結)

外部格付け

ムーディーズ Moody's

Aaa		
Aa1	Aa2	Aa3
A1	A2	A3
Baa1	Baa2	Baa3
Ba1	Ba2	Ba3
B1	B2	B3
Caa1	Caa2	Caa3
Ca	C	

日本格付研究所 JCR

AAA		
AA+	AA	AA-
A+	A	A-
BBB+	BBB	BBB-
BB+	BB	BB-
B+	B	B-
CCC	CC	C

高い
安全性
低い

女性が長く勤めるという企業文化に加えて様々な取り組みを行った結果、多くの女性管理職が活躍しています。

事業所内保育所

女性行員が安心して働くことのできる環境整備の一環として、本店隣の厚生施設に事業所内保育所「百十四ももっこらんど」を開設

育児のための短時間勤務制度

子供が小学校3年生修了まで短時間勤務を認める制度（57名が利用中）

ジョブリターン制度

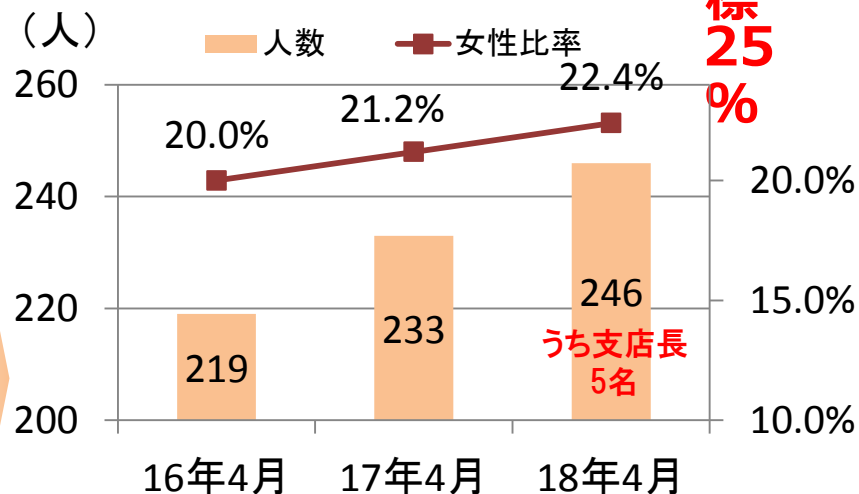
育児・介護等の理由で退職した行員が、一定の条件を満たせば退職時の処遇で復職できる制度（6名が利用して復帰）

育休復帰&ママ応援セミナー

育児休業中の行員や仕事と家庭の両立をしたい行員を対象に定期的に開催



女性管理職人数・比率



えるぼし（最高位）

プラチナくるみん

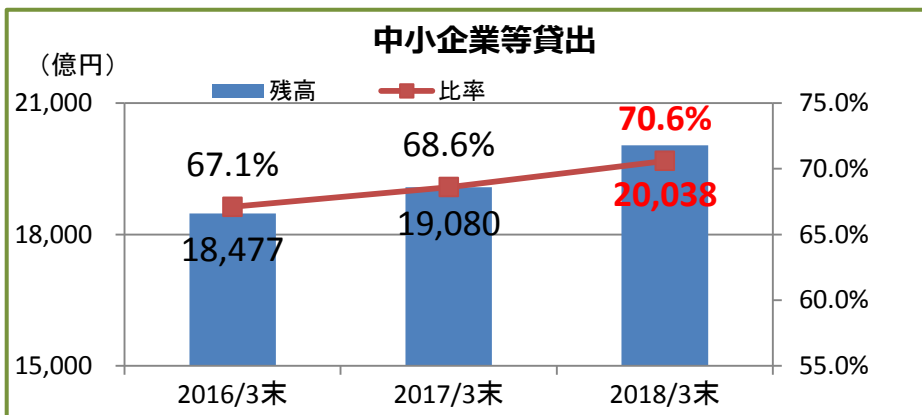


IV. 当行の成長に向けた取組み

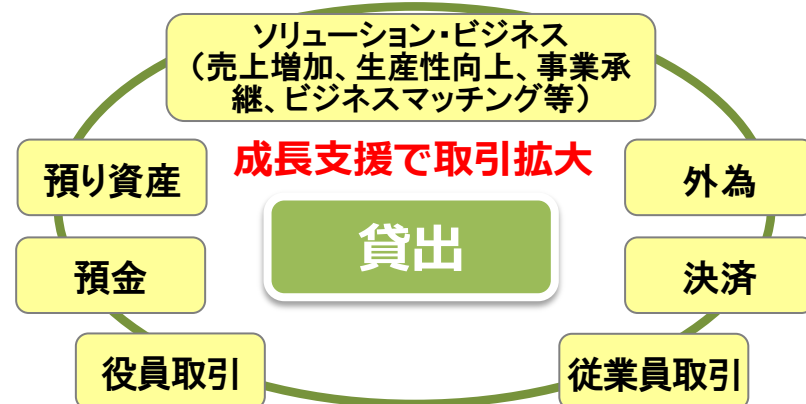
◆ 法人のお客さまの成長支援

事業性評価に基づいた地元中小企業のお客さまの成長をサポートすることで、取引を充実させ当行の利益拡大を図っています。

お客さまの成長支援



顧客基盤の拡大



事業性評価

生産性向上

全国初!

うどん県IT活用推進
コンソーシアム

今年4月、IT活用への推進による中小企業の生産性向上を目的に、IT経営の専門家組織等と共同設立しました。

IT導入補助金2018年度1次採択結果

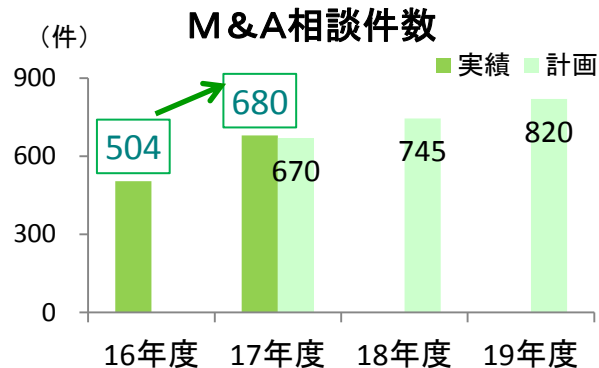
順位	採択数(件)	順位	採択数(件)
1	東京都 1,441	10	静岡県 258
2	大阪府 919	11	千葉県 255
3	愛知県 658	12	香川県 235
4	兵庫県 457	13	広島県 217
5	福岡県 428	14	岡山県 181
6	神奈川県 417	15	岐阜県 176
7	埼玉県 311	25	愛媛県 104
8	京都府 302	35	徳島県 62
9	北海道 287	47	高知県 32

出所) 中小企業庁

(注) 都道府県内の事業者数に占める採択企業数の割合

採択企業
割合(注)は
全国1位

事業承継(M & A)



◆ 個人のお客さま及び地域活性化の取り組み

金融資産形成等の支援で個人のお客さまの安心で豊かな暮らしの実現や、金融の枠を超えた支援で地域の活性化の実現に取り組んでいます。

個人のお客さまへの取り組み

就職 結婚 住宅 教育 退職 セカンドステージ

インターネットバンキング・給与振込 年金受取指定

クレジットカード・無担保ローン・住宅ローン 遺言信託

積立投信・iDeCo・NISA 投信信託・金融商品仲介・保険

iDeCo（個人型確定拠出年金）

- iDeCoは、「積立時」「運用時」「受取時」、それぞれに税優遇あり
- 企業の福利厚生、個人の老後資産形成に有効

iDeCo契約者数上位10金融機関（2018年3月末）（単位：人）

	金融機関名	契約者数		金融機関名	契約者数
1	中央労金	28,772	6	百五銀行	8,507
2	八十二銀行	17,572	7	滋賀銀行	8,216
3	百十四銀行	10,314	8	鹿児島銀行	8,150
4	中国銀行	9,835	9	愛知銀行	7,324
5	山陰合同銀行	8,829	10	東海労金	6,949

出所）「ニッキン」6月22日

地域活性化の取り組み

◆ まんのう町の「ひまわり」ブランディングの支援

- ✓ ひまわりを120万本へ増やしPRすることを提案
- ✓ 「ひまわりオイル」の新商品開発をサポート
- ✓ ネットドラマ「まんのう町のひまわりちゃん」を制作



◆ チャネル改革（対面チャネル）

店舗については、統廃合やお客さまのニーズを踏まえた店舗形態の見直しなどの戦略的な再編に加えて、処理時間短縮に向け店頭スタイル転換にも取り組みます。

対面チャネル（店舗）の再編成

人口減少

ICTの進展

電子マネー
の普及

- ✓ 窓口来店客数の減少
- ✓ インターネット取引の増加

5年～10年をかけて
2割程度の店舗を削減



お客さまのニーズや地域分析などを
踏まえた店舗形態の見直し

店頭スタイルの転換

伝票記入等の手間の削減や現金の授受に行員を介さない事務フローによる処理時間短縮を目的に、昨年5月より、新たな店頭スタイルの試行を実施中。来年度中に19か店まで拡大の予定です。



リサイクルキャッシャー
お客さまによる
大口・あるだけ入金

伝票レス

即時処理



QC（クイックカウンター）
窓口にATMを設置し、
セミセルフ型処理を実施

◆ チャンネル改革（非対面チャンネル）

いつでも、どこでも銀行取引が行えるよう、スマートフォンを中心としたインターネット取引の拡充に取り組んでおります。

「百十四アプリ」の導入



口座開設・ ローン申込み

スマートフォンによる運転免許証を撮影で氏名や住所を自動読み取り。

店舗・ATM

GPS機能により、地図上にお近くの当行店舗・ATMが表示されます。

「百十四銀行アプリ」を導入で、スマートフォンでの取引がより利用しやすくなりました。
(2018年1月)

個人インターネットバンキングの更改

先月、個人インターネットバンキングを全面更改され、新たな機能が追加されました。(2018年8月)

主な新機能

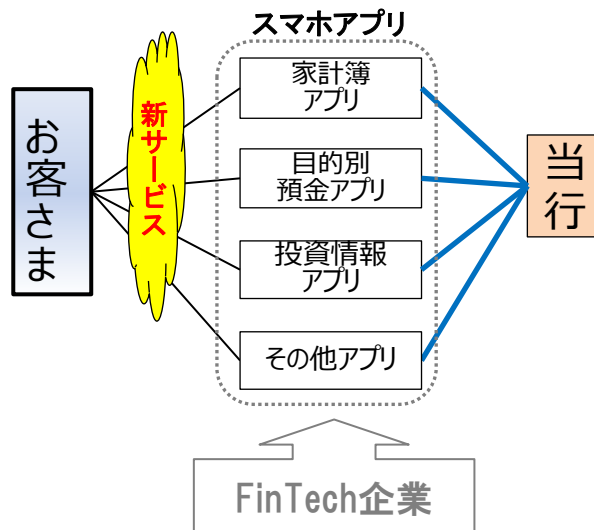
- ①住所変更
- ②定期預金、外貨預金の新規口座開設
- ③明細照会期間の拡大（最大2か月→24か月）

自行内アプリの機能拡充

- ・Web通帳
- ・資金決済アプリ 等

連携先の拡大

他社（FinTech企業等）と連携して、様々なサービスを提供することを検討中です。



四国の地銀4行による包括提携「四国アライアンス」では、「興す」「活かす」「繋げる」「育む」「協働する」の5つのテーマのもと、数多くの施策を実施しております。

2017年度実績

主な実施施策

総額70億円のファンド組成

- 共同設立したファンド運営会社を通じて事業承継や再生支援を目的にファンド組成



SHIKOKU ALLIANCE

四国アライアンスキャピタル(株)

事業承継ファンド
40億円

再生ファンド
30億円

四国創生

4行ビジネスマッチングの推進

- 2017年5月の開始以降、ニーズ登録件数、成約数ともに順調に増加

初年度実績

ニーズ登録件数：2,000件突破

成約件数：300件突破

有償化による
新たなビジネスモデルの構築

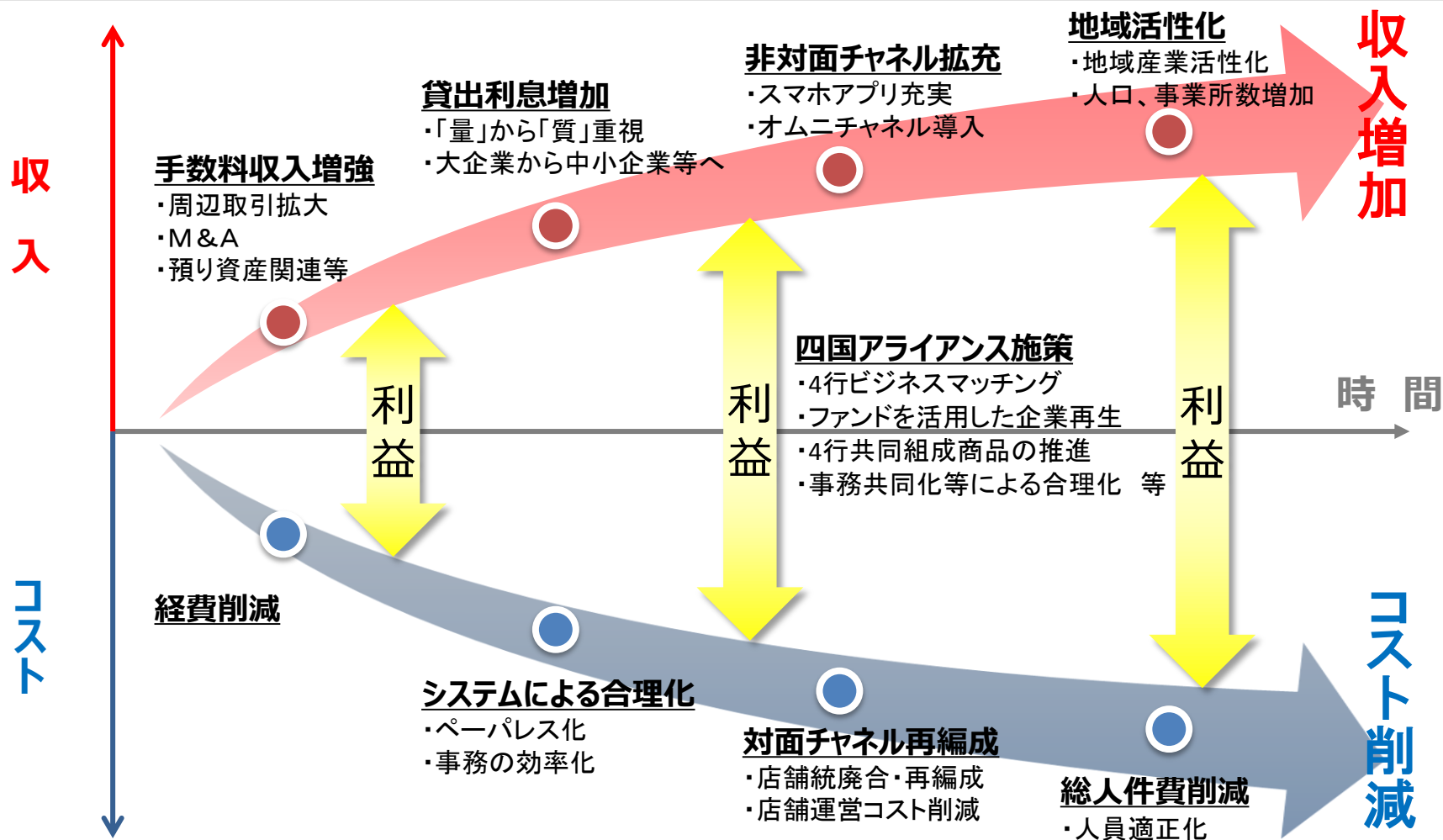
その他の施策

- 2017年7月
✓ 投資信託「四国アライアンス地域創生ファンド『四国の未来』」を取扱開始
- 2017年9月
✓ 健康に関する情報提供サービスをセットした保険商品「四国の絆」を取扱開始
- 2017年10月
✓ 東京証券取引所と四国創生に向けた基本協定締結
- 2017年11月
✓ いよぎん証券の名称を「四国アライアンス証券」へ変更することを公表
- 2018年1月
✓ ファンド運営会社「四国アライアンスキャピタル」を設立
- 2018年3月
✓ 起業・創業意識の向上等を目的に「第一回四国アライアンスビジネスコンテスト」を開催



◆ 各取組みの利益への貢献について

効果が表れるまでに時間を要するものもありますが、各種施策の実施により着実に利益拡大を図ってまいります。



V. その他の取組み

◆ ESG (Environment Social Governance) への取り組み

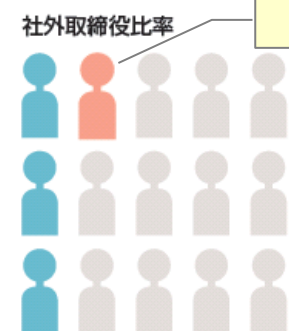
より持続可能性の高い企業を目指し、ESGへの取り組みを着実に進めてまいります。

E (環境)



「フォレストマッチング協働の森づくり」。
昨年は四国アライアンス4行が各行の森林保全活動に相互参加。

G (ガバナンス)

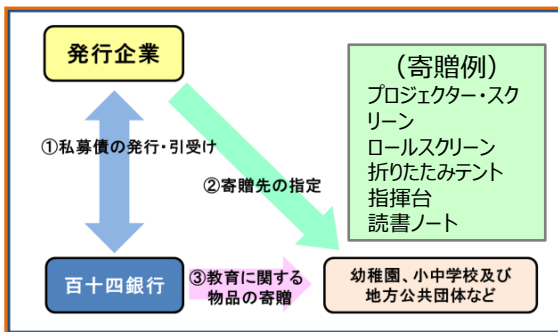


昨年6月に監査等委員会設置会社へ移行。
4名の社外取締役により監督・監査の強化を図っております。

S (社会)

CSR私募債 (百十四地域アシスト債)

発行企業から当行がいただく手数料の一部で教育に関する物品等を購入し発行企業が指定する学校や地公体へ寄贈します。



瀬戸内モニターガールズ

- ✓ 着地型観光プランの企画に役立つ情報を提供する女性モニターチーム (香川県と共同で組織)。
- ✓ 豊かな自然や文化、歴史など豊富な観光資源を有する香川県の新しい魅力を発見・発信しています。



丸亀うちわ制作体験 絶景スポット(父母ヶ浜)

金融教育

金融教育活動支援の一環として、小学生を対象とした「夏休み親子教室」を開催するほか、小・中・高校生の皆さんの職場体験・体験を受け入れております。



夏休み親子教室 職場体験学習

創業140周年記念事業

本年11月1日に創業140周年を迎えます。記念事業を通じてお客さまや地域の皆さまに対して感謝の気持ちをお届けします。

お客さまへの感謝

◆来店感謝運動の実施

140周年当日(11月1日)に、百十四銀行の全営業店で来店感謝運動を行います。

◆キャンペーン・イベントの実施

〈現在実施中のキャンペーン〉

◆「投資信託キャンペーン」

- ①「ミライへのおくりもの」を月額1万円以上お申込み
→ 先着3,000名にQUOカード(500円)
- ②対象の商品を100万円以上ご購入(個人の方のみ)
→ 1商品につき抽選で140名にQUOカード(3,000円)



◆「米ドル建外貨定期預金キャンペーン」

円貨から5,000米ドル以上お預入れ
→ 1か月:5.0%、3か月:3.0%、6か月:2.5%



◆「114マイカー・教育ローン特別金利キャンペーン」

- ①マイカーローン : 金利2.25%(通常金利3.0%)
- ②教育ローン : 金利2.4%(通常金利2.8%)
- ③フリーローン : 金利5.5%(通常金利6.5~9.0%)
又は金利8.5%(通常金利12.0%)



※キャンペーンの詳細は最寄りの営業店にお問い合わせください

地域社会への感謝

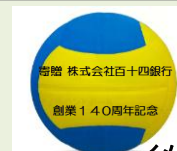
◆バーバパパ号の運行

ことでん琴平線で
バーバパパ号を
来春まで運行中。



◆ドッジボールの寄贈

香川県下の小学校に、ドッジボールを
約1,500個寄贈いたします。



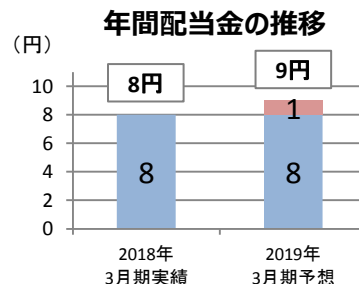
イメージ

株主さまへの感謝

◆記念配当の実施

2019年3月期は1円^(注)の
記念配当を実施予定。

(注) 株式併合考慮前



VI. 株主さまへの還元

株主さまへの還元①（利益還元方針と実績）

今後とも株主の皆さまへの還元を着実に実施してまいります。2019年3月期は創業140周年を記念し、1株あたり1円の増配を予定しております。

【年間配当】

2016年3月期より1株当たり8円を継続しています

【創業140周年記念配当】

2018年11月1日に創業140周年を迎えるにあたり、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするため、2019年3月期の中間期末については50銭、期末については5円00銭（注）の記念配当を実施する予定です（株式併合考慮前では1円の記念配当）

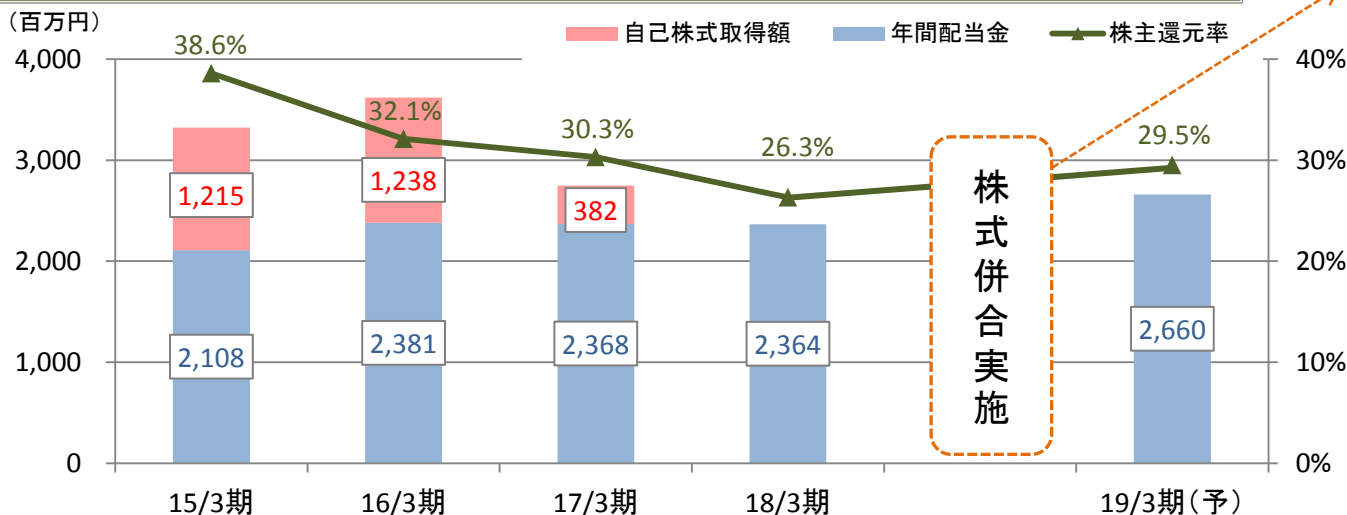
2018年10月1日

◆単元株式数の変更

1,000株→100株

◆株式併合

10株→1株



株式併合実施

1株あたり
年間配当

7円

8円

8円

8円

9円
うち記念
1円

（注）株式併合を考慮した場合の19/3期予想年間配当は49.5円（うち記念配当5.5円）です

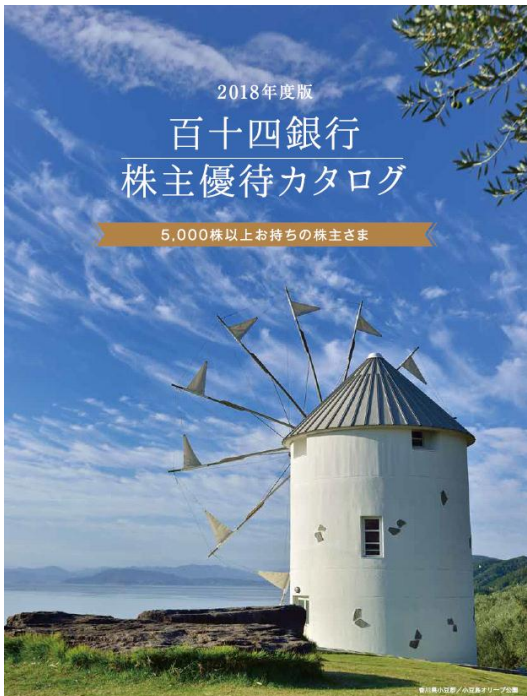
◆ 株主さまへの還元②（株主優待制度）

株主還元の一環として、株主優待制度をご用意しております。
地元香川県の特産品を掲載したカタログからお選びいただけます。

株主優待制度の概要

* 株式併合後は、100株以上保有の株主さまが対象となります

対象となる株主さま	毎年1回、3月末現在で1,000株以上ご所有の株主さま	
概要 保有株数に応じて 専用カタログを送付	保有株数1,000株以上5,000株未満	2,500円相当の香川県産品
	保有株数5,000株以上	5,000円相当の香川県産品

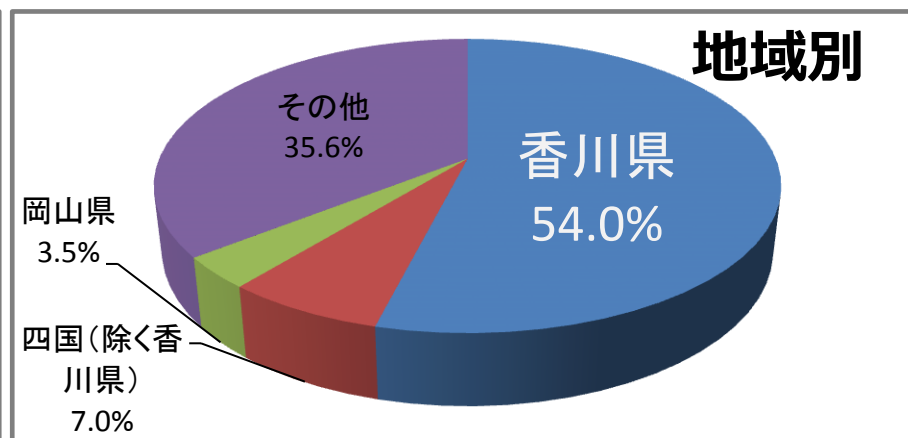
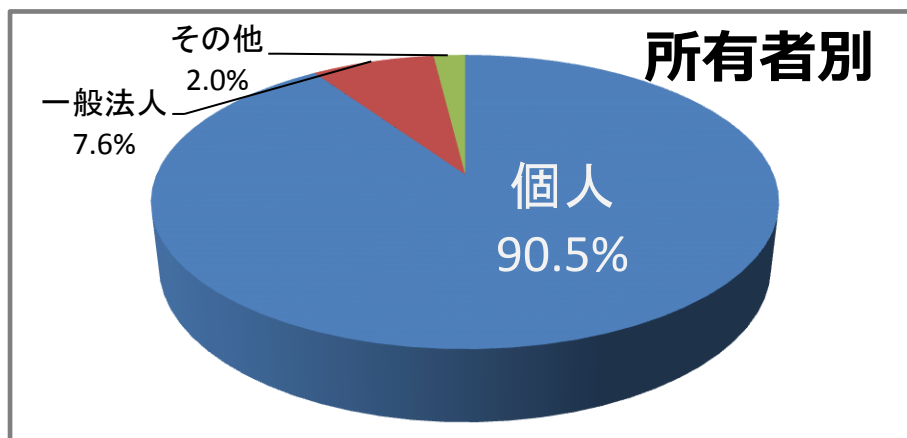


* 画像は地元特産品のイメージです。

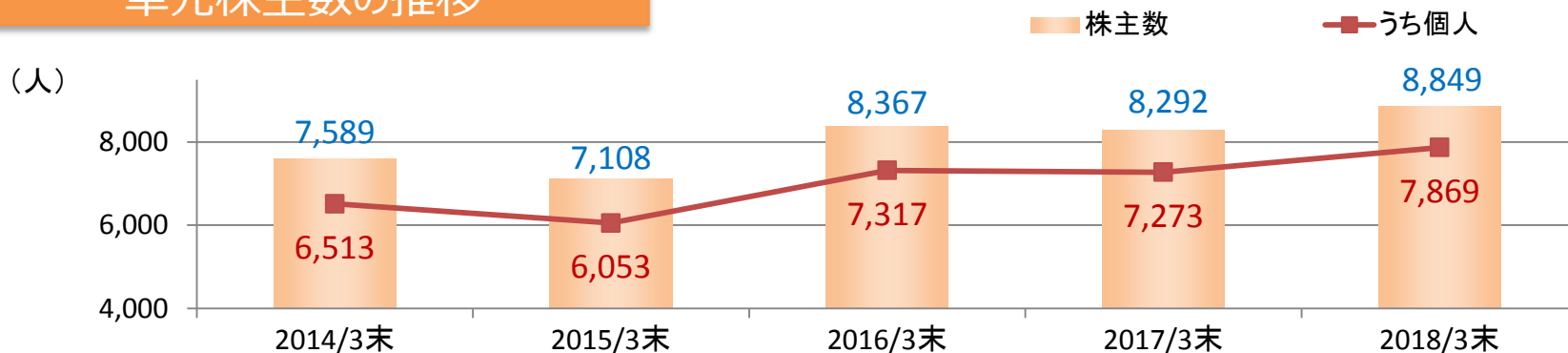
◆ 株主さまへの還元③ (株主構成の状況)

当行の株式は、地元香川県の個人の皆さまを中心にご所有いただいております。

株主構成

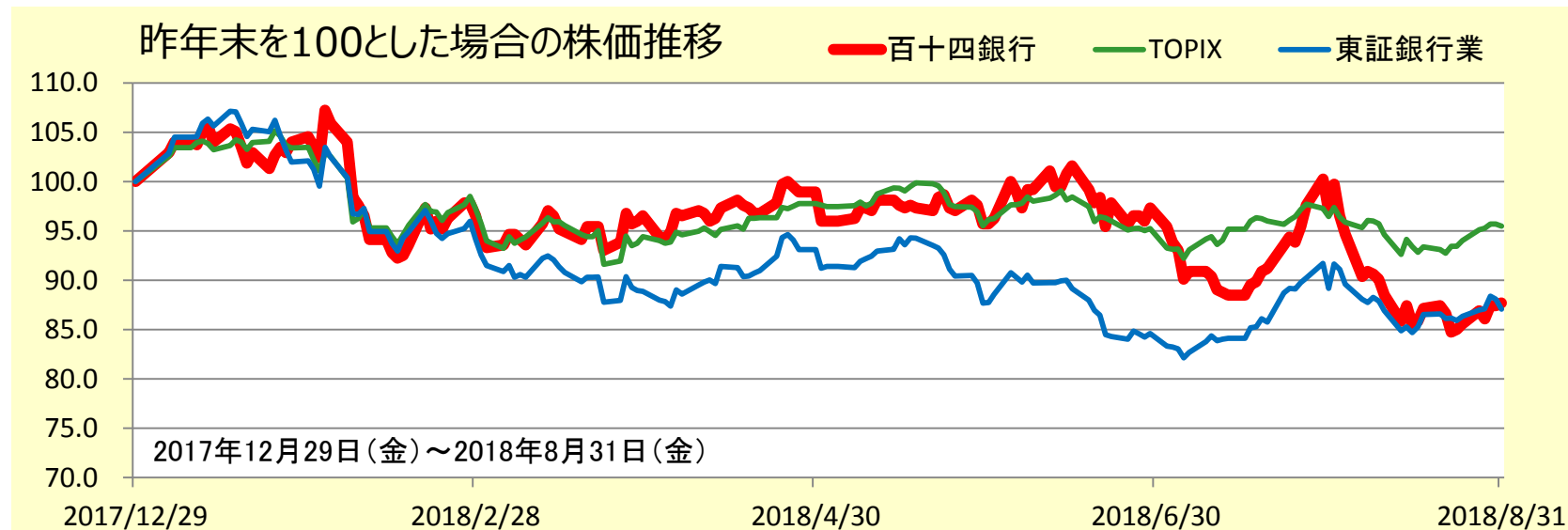


単元株主数の推移



当行株価の推移

マイナス金利政策に伴う資金利益低下見通しから、銀行銘柄は低迷していますが、堅調な業績及び各種指標の観点からは是非投資対象としてご検討ください。



	当行	銀行業平均	東証一部平均
株価(2018年8月31日)	328円		
1株あたり配当金(年間)	9円		
配当利回り	2.74%	2.41%	1.71%
PER予想(H30/3月期 予想ベース)	9.68倍	13.00倍	14.79倍
PBR実績(H29/3月期 実績ベース)	0.32倍	0.45倍	1.31倍

本日は、ありがとうございました。

本説明資料や I R 全般に関するご意見、ご感想、お問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社百十四銀行 経営企画部 経営企画グループ

電 話 087(836)2787

F A X 087(836)3677

E - m a i l keiki.kikaku@114bank.co.jp

HPアドレス <http://www.114bank.co.jp/>

事前に百十四銀行の許可を得ることなく、本資料を転写・複製し、または第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は予告なく修正または変更されることがあります。なお、本資料に含まれている将来の業績に係る記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、将来の業績は経営環境の変化等の様々な要因により変動する可能性がありますことにご留意ください。